

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（売場主 任）	単価の動き	・有名ブランドやハンドメイド品など、12万円以上の紳士用スーツの売行きが非常に良くなっている。	
		商店街（代表 者）	単価の動き	・冬物の売行きが良くなり、1点当たりの単価がかなり高くなっている。	
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	単価の動き	・来客数は横ばいか微減であるが、買上単価が上昇している。	
		スーパー（統 括）	販売量の動き	・ジャンパー、ジャケット類を中心に、衣料品の動向は上向きで推移しており、1点当たりの単価も前年同月比を上回っている。食品は鍋物を中心とした温かいメニューが好調であるが、依然として加工食品を中心とした価格低下が続いている。住居関連では5万円台のこたつの動きが良い。	
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・婦人服は来客数、販売量ともに前年をやや下回ったが、スーツ、ジャケット、コートが前年を上回り、その他の商品の販売量も増加したことから、10月の売上は前年同月比15%増の見込みとなっている。	
		家電量販店（店 長）	単価の動き	・プラズマテレビ、液晶テレビ、客の新築需要によるエアコン等の購入では、比較的良好な商品、付加価値のある高額品を求める傾向があり、安定して単価の動きが良くなっている。	
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・前年比ではあまり上向いていないが、非常に悪い時期は終わったようで、3か月前よりは上向いてきている。	
		旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	・単価は低いが、1泊2日など、グループで出かける客の申込が出てきている。	
		通信会社（社 員）	販売量の動き	・純増数は伸び悩んでいるものの、計画以上に高機能の新機種への機種変更数があるので、やや良くなっている。	
	変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・行楽、遠足、運動会など外に出る行事が多くなり、客が動いている。
			一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・10月は地元の各地で祭典や運動会が開催されているが、客はその日だけということが多い。地方ではまだ消費は控えられている。
			百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・冷夏後、売上低迷が続くものと予測していたが、実際は気温の低下により、防寒関連を中心に動きが活発になっている。
			スーパー（経営 者）	競争相手の様子	・今月末で閉鎖する大型店が売り尽くしの特売をしているため、売上が約2%減少している。農作物の売上は前年比で8%程度減少しており、状況は変わらない。
			スーパー（総務 担当）	単価の動き	・10月はセール効果で売上自体は伸びているが、単価は前年を下回る状況が続いている。
		衣料品専門店 （店長）	単価の動き	・スーツやジャケットなど高額品の動きが悪いため、売上が上がらない。	
		乗用車販売店 （営業担当）	お客様の様子	・今まであまりいなかったが、車検を受ける際に他店の見積りと比較をする客が、目立つようになってきている。	
		その他専門店 〔携帯電話〕 （営業担当）	販売量の動き	・客の希望する商品の極端な品不足が続いており、キャンペーン等も少なく、活動も低調である。	
		高級レストラン （店長）	販売量の動き	・家族連れや友人単位の予約、来店は順調であるが、法人の予約はほとんどない。個人消費に回復の兆しはみえているが、まだ実際の業績に反映されるほどではない。	
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・来客数は年末に向けてやや増加しているが、個人客が減少しており、総じて変わらない。	
	一般レストラン （経営者）	単価の動き	・10月前半は家族連れ等の来店でそれなりの売上であったが、後半は選挙等の影響からか、客足が落ちている。		
	観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・前年と比べ観光客が2割減少している。		
	都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・集会、宴会は横ばいであるが、宿泊、レストランは、いずれも前年より1割減少している。		

	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売価格の低下傾向に歯止めがかからない。農村地帯であるが、農家所得が上昇しないので、横ばいの状態が続いている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・紅葉の時期であるが、客は少なく、売上は早番、中番の場合が2万円、遅番の場合は3万円程度である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・飲み屋、居酒屋、時間制で安心して飲める店等が増えているからか、夜の仕事はやや増加している。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・紅葉客は例年並みであるが、日帰りが多く、レストランを利用する客も少ないため、当観光地の売上は全般的に例年を下回っている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・入場者は前年比100%であるが、売店、食堂の単価上昇により、全体での客単価が200円程度上昇している。
	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・コンペ等の企画には来場があるが、個人の来場者数が減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・客単価を上げるには単価の高いパーマの客が必要であるが、ほとんどパーマの客はいなくなってきた。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（事務長）	お客様の様子	・車検整備の入庫は、車検が1～2度目、あるいは5度目以降と、2極化の構図が目立っている。特に、軽を含めた貨物車は古い年式の入庫が多い。
	設計事務所（所長）	それ以外	・自社の仕事量は3か月前とほとんど変わらない。他の建設会社等の動きもあまり変わっていない。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・動いているのは単価が安く、総額の低い物件のみであり、全体的に仕事の規模が縮小している。利益も少なく、あるだけ良いという状況である。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・大手企業が地方から中央に移転、統合しており、事務所等の空室が目立つ。また、地域の商業、物販店が悪く、事業を閉鎖する傾向にあり、空き事務所、空き店舗は増加し続けている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春にオープンした大型店とアウトレットの影響を受けている。さらに、夏には大型ショッピング施設、市内のスーパー、大型店とオープンが相次ぎ、来客数が減少し、全体的な売上も減少傾向にある。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・競合店が売上を意識して、かなり価格を下げている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・9月からの規制緩和、酒類販売の自由化により、どこでも酒を販売するようになっていたので、コンビニ業界は厳しい。また、24時間営業や深夜12時まで営業を行うスーパーが出てきているため、来客数、客の流れに影響を受けている。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・年末商戦を前倒して実施し、その他販促も行っているが、ほとんど客の反応がない。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・中古車の販売量は2～3か月前までは一定であった。今月も展示会の広告、宣伝を行ったが、急に宣伝効果が表れなくなり、販売量が8、9月の半分程度まで落ち込んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・県内の大手電機メーカーは多少良いが、公共事業のゼネコンがすべて悪く、したがって客の動きもなく、大変な時期となっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年10月は9月の減収分を取り戻す月であるが、農作業の時期がずれ込んだ今月前半は昼間の客が減少し、後半は選挙の影響で夜の客数が減少したことから、9月の売上を下回っている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・客からの問い合わせ、相談、依頼が減少している。
悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・10月に入り、市がアクティブクーポンという、2割程度割引になる地域のクーポンを発行している。当初は期待されていなかったが、1億円程度の売上を達成し、地元の商店としては期待し直しているが、全体的には良い状況ではない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・商店街の中を歩く人が全くおらず、午後から夕方にかけての来店客もいない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・スーパーの営業時間が非常に長くなり、24時間営業の店舗もあるため、影響を受けて来客数が激減しており、苦戦している。

		タクシー運転手	お客様の様子	・10月の1日当たりの営業回数は、特に少なく、午前中は30分～1時間に1回、午後は2～3時間に1回しか機会がないので悪くなっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
		食料品製造業 (営業統括)	取引先の様子	・大手メーカーはポージョレ・ヌーボーに大幅にシフトし、国産ワインを抑え気味だが、中小メーカーは国産に注力しており、前年を上回る見込みである。
	やや良く なっている	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・仕事は出てきているが、むらがあり、短期間の上、コストも安くなっている。
		精密機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・多忙な取引先とそうでない所の格差が出てきている。
		輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・休みが多く受注が激減した8月と比べると、前月比で9月は20%増、10月は10%減となっている。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・地域差はあるが、一部の製造業でカーナビ、DVD等を中心とした受注が増加傾向にあり、増産体制に入っている。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・求人広告掲載件数が、前年同期比で約7%増加している。飲食業を中心としたサービス業の繁忙期への準備はもちろん、一般企業の従業員補充の動きも活発化している。
変わらない	化学工業(総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・取引先である末端の小さな鉄工所、建設業などに仕事がないので、当社への高圧ガス関連の溶接、ガス切断等の受注がない。	
	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・下期に向けて大手の親会社が赤字事業部門の徹底解消をしており、コスト競争が一層激しくなっている。二次、三次、四次請け等、下にいくほど仕事量の減少とコストダウンが激しく、採算が取れない経営を続けている。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・仕事量もあまり増えていないが、受注価格、販売価格がとにかくひどい値段になってきている。	
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・受注、採算の悪化に歯止めがかかっていない。	
	金融業(融資担 当)	取引先の様子	・取引先のいくつかの小売店等の話では、消費者の消費行動自体はそれほど落ち込んでいないが、商品を吟味し、安い物を買うというようになっており、売上ほど利益は上がらないということである。	
	新聞販売店[広 告](総務担 当)	それ以外	・10月のチラシ出稿量は前年比14%の伸びとなっているが、前年10月は大きくマイナスとなった月であり、一昨年の数字に戻った程度である。	
やや悪く なっている	その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	それ以外	・依然として売上が前年を下回っている。店頭販売が不振で、展示会も今一つ伸びがない。	
	輸送業(営業担 当)	競争相手の様子	・10月から施行された首都圏の排ガス規制などで、同業者の保有台数が減少し、同業者自体も減少しているため、仕事量をこなすことが厳しくなっている。	
	その他サービス 業[放送](営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・経費節減と広告の効果を上げるため、企業が本社に広告経費を集中する傾向が強く、地方都市でのコマシャル獲得が難しくなってきた。	
悪く なっている	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・上期に追い込み生産をした結果、10月の受注が落ち込んでしまっている。	
	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・9月決算での受注残高が前年同月比57%となっており、10月以降の営業活動に全力を投入するが厳しい。	
	不動産業(経営 者)	取引先の様子	・アパート、マンションを新しく建てる際に、コストダウンを最重視する傾向が強く、景気は悪くなっている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・いくつか選挙関連の派遣依頼がある。中には候補者の選挙事務所が後援企業に人的応援を仰ぎ、対応しきれない企業が派遣会社に人材を求めるケースもある。各企業ともぎりぎりまでリストラし、余剰人員がないという背景もあるのか、製造業でもこのところの業績回復により人出が不足し、派遣で対応する企業が数社ある。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が増加している。3か月前と比較し、有効求人が8.7%、月間有効求人倍率が現時点で0.17ポイント増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は1年7か月ぶりに0.60倍となり、改善傾向はみられるものの、依然として予断を許さない状況にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・過去数か月の新規求人数は、前年同期比で10～20%増加しており、3か月前と比べても約20%の増加となっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人全体で見ると大きな変化はないが、大手企業を中心にデジタルカメラ、液晶が拡大し、関連企業にも効果が出て、製造業の求人は増加している。
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・建設、土木が以前と比べて特に悪く、低迷が続いている。募集は請負、派遣が多く、一般の正社員募集は、極端に少ない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・採用は圧倒的にパート、アルバイトが多く、正社員はほんのわずかである。
やや悪くなっている	学校〔短期大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・例年今ごろの時期に求人のある企業十数社に問い合わせたところ、景気低迷や経費節減のため、事務職等に欠員が生じても派遣等で対応するというので、正社員採用には慎重な企業が多い。
悪くなっている	-	-	-